



目次

砂浜で見られた種

オカヒジキ	1p
オニハマダイコン	1p
ハマゼリ	2p
ハマヒルガオ	2p
スナビキソウ	3P
ハマニガナ	3P
ハマニンニク	4P
ケカモノハシ	4P
コウボウムギ	5P
コウボウシバ	5P

後背地で見られた種

エゾカワラナデシコ	6P
トベラ	6P
マルバノシャリンバイ	7P
ハマナス	7P
スナビキソウ	8P
ハマゴウ	8P
ツワブキ	9P

植物図鑑

●種名● オカヒジキ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本全土に分布する。

●形態●

1年草。茎は高さ10～40cm。根元から枝分かれして広がる。葉は肉質の刺状で長さ1～3cmあり、ヒジキに似ている。

●生育地●

海岸、砂地を主な生育地とする。

出典：山溪カラー名鑑 日本の野草（山と溪谷社）

植物図鑑

●種名● オニハマダイコン



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

北アメリカ東岸中北部原産。北海道、本州は東北および中部地方北部に分布している。

●形態●

1年草または2年草。全草多肉質で無毛、直根がある。茎は多数分枝して、枝は斜上し、高さ15～50cmになる。

●生育地●

海岸砂丘に生育する。

出典：日本の帰化植物（平凡社）

植物図鑑

●種名● ハマゼリ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

日本全土に分布する。日本の他、朝鮮や中国にも分布する。

●形態●

小型の2年草。根は多肉の直根で地中に深くのびる。根生葉には長い柄があり群れてつく。茎の高さは10~40cm。

●生育地●

海岸、砂地を主な生育地とする。

出典：山溪カラー名鑑 日本の野草（山と溪谷社）

植物図鑑

●種名● ハマヒルガオ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

世界中の海岸に広く分布する。日本ではほぼ全土に分布する。

●形態●

つる性の多年草。白い地下茎は丈夫で砂の中を長くはい、しばしば大群落を作る。

●生育地●

海岸、砂浜を主な生育地とする。

出典：山溪カラー名鑑 日本の野草（山と溪谷社）

植物図鑑

●種名● スナビキソウ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● ヨーロッパ、アジアの温帯に広く分布する多年草。日本では北海道、本州、四国、九州に分布する。

●形態● 長い地下茎を出して繁殖する。高さ30cmほどで倒被針形の葉を密につける。

●生育地● 海岸を主な生育地とする。

出典：山溪カラー名鑑 日本の野草（山と溪谷社）

植物図鑑

●種名● ハマニガナ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本では本州に分布する。

●形態● 多年草。白い地下茎を長くひき、砂をかぶってもすぐのびて葉を砂の上に広げるため、葉が一行に並んでいる。

●生育地● 海岸を主な生育地とする。波打ちぎわに近い砂浜にコウボウムギやハマヒルガオ等とともに生える。

出典：山溪カラー名鑑 日本の野草（山と溪谷社）

植物図鑑

●種名● ハマニンク



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本では北海道、本州、九州に分布する。

●形態●

多年草。和名は葉がニンクに似ていることによる。地下茎は太く長くはう。茎は円柱形で太く1~1.5mに達し、葉は平たく細長い。

●生育地●

海岸、砂地を主な生育地とする。

出典：山溪カラー名鑑 日本の野草（山と溪谷社）

植物図鑑

●種名● ケカモノハシ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本では北海道、本州、四国、九州に分布する。

●形態●

多年草。高さ30~80cmになる。カモノハシの名は、花穂が2個ぴったりついて立つ形を、カモのくちばしにたとえた物。

●生育地●

海岸、砂浜を主な生育地とする。

出典：山溪カラー名鑑 日本の野草（山と溪谷社）

植物図鑑

●種名● コウボウムギ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本全土に分布する。

●形態● 多年草。根元の古い葉鞘の繊維が筆に似ていることから、弘法大師の筆に見立てたもの。

●生育地● 海岸、砂浜を主な生育地とする。

出典：山溪カラー名鑑 日本の野草（山と溪谷社）

植物図鑑

●種名● コウボウシバ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本全土に分布する。

●形態● 多年草。地下茎は太くて長く、砂の中をはって節から葉や茎を出す。

●生育地● 海岸、砂浜を主な生育地とする。

出典：山溪カラー名鑑 日本の野草（山と溪谷社）

植物図鑑

●種名● エゾカワラナデシコ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本では北海道と本州の中部地方以北に分布する。

●形態● 多年草。高さ30～80cmになる。萼筒がやや短く、苞は2対あって先が尾状にとがる。

●生育地● 山野の日当たりのよい草原や河原などに生育する。

出典1：山溪カラー名鑑 日本の野草（山と溪谷社）
出典2：山溪ハンディ図鑑1 野に咲く花（山と溪谷社）

植物図鑑

●種名● トベラ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本では本州、四国、九州、沖縄に分布する。

●形態● 高さ2～3mになる常緑低木。葉は枝の上部に密に互生し、長さ5～10cmの長楕円形で革質。

●生育地● 暖地の海岸に多く生育する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の樹木（山と溪谷社）

植物図鑑

●種名● マルバノシャリンバイ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本では本州の山形県以西に分布する。

●形態● 高さ2～6mになる常緑低木～小高木。枝は車輪状に出る。葉は枝先に密に互生し、長さ4～8cmの倒卵形。

●生育地● 暖地の海岸に多く生育する。

出典1：山溪カラー名鑑 日本の樹木（山と溪谷社）
出典2：山溪ハンディ図鑑3 樹に咲く花 離弁花1（山と溪谷社）

植物図鑑

●種名● ハマナス



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本では北海道、本州の太平洋側は茨城県まで、日本海側は島根県までに分布する。

●形態● 高さ1～1.5mになる落葉低木。地下茎をのばして増え、群落を作ることが多い。

●生育地● 海岸の砂地に生育する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の樹木（山と溪谷社）

植物図鑑

●種名● スナビキソウ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● ヨーロッパ、アジアの温帯に広く分布する多年草。日本では北海道、本州、四国、九州に分布する。

●形態● 長い地下茎を出して繁殖する。高さ30cmほどで倒被針形の葉を密につける。

●生育地● 海岸を主な生育地とする。

出典：山溪カラー名鑑 日本の野草（山と溪谷社）

植物図鑑

●種名● ハマゴウ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本では本州、四国、九州に分布する。

●形態● 高さ30～60cmになる落葉小低木。茎は長く砂をはってのびる。葉は対生し、長さ2～5cmの楕円形または倒卵状円形。

●生育地● 海岸の砂地に生育する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の樹木（山と溪谷社）

植物図鑑

●種名● ツワブキ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

日本では本州の福島県、石川県以西、四国、九州、沖縄に分布する。

●形態●

常緑の多年草。30～70cmになる。葉はフキに似て厚く、表面につやがあるのでこの名がある。

●生育地●

海岸や海辺の山などに生育する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の野草（山と溪谷社）